



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



Weekly Reports 2019-2020

2019-20年度 RI会長; マーク・ダニエル・マローニ / 地区ガバナー 浅木 幸雄
加古川ロータリークラブ会長; 枝川 潤一 / 幹事; 大辻 利紀
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和2年1月14日(火) 晴 No. 24



▲会長挨拶



▲クラブ協議会進行の幹事



▲ゲスト米山奨学生張さん

会長の時間

会長 枝川 潤一

「クラブ細則改定案の中間報告」

まず報告事項が2件あります。一つはロータリー米山記念奨学会より29回目の米山功労クラブの感謝状が届いています。皆様方のご協力に改めて感謝申し上げます。もう一つは岡田年度に決定されたグローバル補助金を活用した台湾の「マサロ庇護所ホーム改造計画」がRIのプロジェクト GG2092296 として承認され、昨年12月に当クラブより5250ドルをロータリー財団へ送金致しました。

さて本日は、当クラブの細則改定作業がある程度進んで<案>が整い、先週の理事会に新旧対照表を添えて中間報告を致しましたので、改めてその主たる課題について簡単に説明報告しておきたいと思えます。

1. メイキャップの期間は現行通り‘前後2週間’とする予定です。
2. 委員会関係では、委員会活動における各年度の裁量権を縛り過ぎないように配慮して表現を大幅に改めました。クラブの委員会活動の指針としてこれで良いのか、細かな字句も含めて是非ご意見を賜りたいところです。

なお、地区が推奨する「戦略計画委員会」は設けない方向で、また「クラブ奉仕委員会」の設置についても流動的です。計画的な会員増強対策の強化を図り、副会長らが各委員会活動の監督調整に努めることで当面は対応可能との意見もあります。

3. 会員の負担額は従来通りですが、ルールとして会費の規定や入会金の例外規定の表現の仕方について詰めているところです。なお、会計報告についてはRI推奨細則に沿う形に変更致します。
4. 全体として、現在のクラブ細則は1996年頃のRI推奨細則をほぼ忠実に採用していますが、今回の<案>は構成的には2019年RI推奨細則に準じつつ、文言的には現在のクラブ細則を主とするロータリーの何らかの資料から抜粋して更にそれを短くしたような表現部分が結構多く、現細則の重複部分は思い切って省略しており、ほぼ全面改定と言える形になっています。
5. 今後の日程としては、3月の理事会および例会の承認を得て4月1日施行という形で進めたく、今日から約1ヶ月間はパブリックコメントにならって会員の皆様からのご意見やご質問を募り、それを踏まえて特別委員会で修正を加えて最終案をまとめる予定です。

委員会内でも文言を省略し過ぎていないか、追加した独自部分に不備はないか等について今一度チェックするつもりです。この細則の新旧対照表は事務局に請求すればいつでもお渡ししますので、出来るだけ多くの会員の皆様から忌憚のないご意見ご感想を頂きたいところです。

最後に本日はクラブ協議会で前半期の報告となっています。各委員会の委員長の皆様宜しくお願い致します。また、米山奨学生のチャン・ジュソンさんから一言お願い致します。

幹事報告

1) ☆他クラブニュース

例会変更のお知らせ

高砂RC ◇2月 7日(金)→東播第2グループI.M.のため

2月8日(土) 14時30分～

於;ウエディングパレス鹿島殿

◇2月28日(金)→休会[定款第8条第1節(C)]

高砂青松RC ◇2月 5日(水)→例会場変更 於:高砂市文化保健センター

◇2月12日(水)→東播第2グループI.M.のため

2月8日(土) 14時30分～(登録14時より)

於;ウエディングパレス鹿島殿

◇2月26日(水)→休会[定款第8条第1節(C)]

加古川平成 RC ◇2月12日(水)→東播第2グループ I.M.のため

2月8日(土) 14時30分～

於;ウエディングパレス鹿島殿

◇2月26日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|---------------------------------------|
| 省 | 略 | ☺ | 米山奨学生チャン ジュソンさんをお迎えして |
| 省 | 略 | ☺ | 本日はクラブ協議会です。各委員長の皆様、上半期の報告を宜しく申し上げます。 |
| 省 | 略 | ☺ | チャン ジュソンさんようこそ、楽しんでいって下さい。 |
| 省 | 略 | ☺ | 写真ありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 写真有難うございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 写真をいただき、ありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 写真ありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | テーブルの花いただきます。 |

以上8件 ¥11,000-
本年度累計¥1,230,000-

出席委員会

- | | | |
|-------|---|------------------------------------|
| ☆ 今 | 週 | 会員数 77 名 出席 46 名 出席免除 18 名 欠席 13 名 |
| ☆ 欠 席 | 者 | 省略 |
| ☆ 前 | 々 | 週 |
| ☆ ゲ | ス | ト |
| | | 会員数 77 名 出席 58 名 出席免除 9 名 欠席 10 名 |
| | | 米山奨学生 チャン ジュソンさん |

親睦活動委員会

例会場当番

1月21日(火) 鶴田、宮崎

1月28日(火) 山本、水埜



プログラム委員会

本日1月14日(火)	1月21日(火)	1月28日(火)	2月4日(火)
クラブ協議会 前半期の報告	優良職業人表彰 職業奉仕(委)担当	卓話 「紀州のこと」 岡井 担当	フォーラム (株)SIC「水の話」 国際奉仕委員会担当

世界ポリオデー: また一步、大きな前進を遂げる

世界ポリオデーの10月24日、ロータリーとパートナー団体による[世界ポリオ根絶推進活動\(GPEI\)](#)は、「ポリオのない世界」という究極の目標に向けて、また一步、大きな前進を遂げました。この日、3型の野生型ポリオウイルス株の根絶が発表されました。

この歴史的な発表は、世界ポリオデーにロータリーが世界各地で配信した特別プログラムの中で、世界保健機関(WHO)の[テドロス・アダノム事務局長](#)が行いました。同氏は、3型ウイルス株による発症が2012年11月にナイジェリアで検知されて以来報告されておらず、専門家から成る独立委員会が、この種類のウイルス株が世界的に根絶されたことを結論づけたと述べました。2型ウイルス株は、2015年に既に根絶が宣言されています。

「これにより、残るは1型の野生型ポリオウイルスだけ」とテドロス・アダノム氏は述べ、ポリオフリーの世界の実現に向けたこれまでのロータリーの尽力に言及しました。

また、自己満足が最大の敵だと指摘し、「最後の一押しのために2倍の努力で臨んでいただきたい」と激励のメッセージを寄せました。

「未来の子どもたちが“ポリオ”という言葉を目にするのが、歴史の本の中だけになる日が必ずやってきます」

最前線で活動する人たち。左から、タヤバ・グル氏、ヘメンドラ・ベルマ氏、セルフイ・ザバスキー氏。



「今活動を止めれば、ウイルスが再び流行し、年間20万人以上が新たに発症するという以前の状態に戻ることになります。(中略)私たちは最後までやり遂げなければなりません。力を合わせれば、未来の子どもたちが“ポリオ”という言葉を目にするのが、歴史の本の中だけになる日が必ずやってきます」

ロータリーによる今年の世界ポリオデープログラムは、世界各地に合わせた時間帯と言語で、フェイスブックにて配信されました。UNICEF USA とビル&メリンダ・ゲイツ財団がスポンサーとなったこのプログラムでは、パラリンピックメダリストのアデ・アデピタンさん、スーパーモデルのイザベリ・フォンタナさん、科学教育者のビル・ナイさん、女優のアーチャー・パンジャビさんなども登場しました。

またこのプログラムには、インド、パキスタン、ウクライナの子どもたちをポリオから守るために活動しているロータリー会員3名を紹介した映像も含まれていました。パキスタンでは、ロータリアンのタヤバ・グルさんが医療従事者のチームと協力し、ポリオワクチンの重要性について母親と子どもへの教育を行っています。インドのヘメンドラ・ベルマさんは、医療従事者とボランティアを通じて、すべての子どもに予防接種することを奨励しています。また、ウクライナのロータリアンであるセルフイ・ザバスキーさんは、子どもへの予防接種に消極的な人たちに情報を提供するため、ソーシャルメディアや公共イベントを利用したアドボカシーと啓発プログラムを実施しています。これらの3人のヒーローは、世界中のロータリアンと同じく、献身的にボランティア活動をすることの大切さを伝えています。

幼少期にナイジェリアでポリオに感染したポリオサバイバーのアデピタンさんは、ここ3年間以上、祖国ナイジェリアで野生型ポリオウイルスによる発症が起きていないことに触れ、これ

はとてつもない偉業であると称えました。

ナイジェリアでのこの画期的な達成により、WHO が定めるアフリカ地域全体が来年、野生型ポリオウイルスのない地域として認定される道が開けました。アデピタンさんは、一昔前は世界中のポリオ症例のほぼ 75%がアフリカで起きていたことに触れ、アフリカ大陸における大きな前進を強調しました。

「今日、アフリカに住む 10 億人以上の人たちがポリオのない未来を迎えようとしています。活動はまだ終わっていません。私たちは『ポリオのない世界』という、より大きな勝利に向け努力しています。実現が待ちきれません」

科学教育者のビル・ナイさんは、ワクチンに対する人びとの抵抗が世界にもたらす脅威について話しました。「ワクチンに対する逆風が強くなると、予防可能な病気の流行が増えます。はしかだけでなく、ロタウイルスや破傷風、ポリオだってそうです。— ワクチンの科学は確立されており、議論の余地はありません」

「GPEI が始まった 1988 年以来、ロータリーとパートナー団体は、ポリオワクチンの普及に取り組んできた」とナイさん。30 年前、ポリオは 1 年間に 35 万人の子どもたちに影響を与えていました。その後、世界中で大規模な予防接種キャンペーンが行われ、今日までにポリオ症例数は 99.9%以上減少しています。

ナイさんは「これで予防接種の効果が具体的に示された」と話します。

ロータリーのフェイスブックで配信された動画では、ポリオ根絶活動の最前線で活動する保健ワーカーの活躍と、この 1 年間における達成にもスポットライトが当てられました。ロータリーの[公式日本語フェイスブック](#)でも、日本語字幕付きの映像をご覧いただけます。

世界が直面している課題

これらの成果にもかかわらず、アフガニスタンやパキスタンではポリオの症例が増加しています。地域によってアクセスが困難であること、予防接種を行うボランティアのための安全性が確保されていないこと、人びとの移動が非常に多いことなどが増加の理由となっています。2018 年全体で、これら 2 カ国で報告された野生型ポリオウイルスの症例数は、わずか 33 件でした。しかし、2019 年の現時点で症例数は既に 88 件となっており、専門家は今後さらに増えると予測しています。

WHO のポリオ根絶部長であるミシェル・ザフラン氏は、ポリオ根絶活動の中核はシンプルなもので、子どもたちに十分なワクチンを与えることができれば、ウイルスが宿る場所は減り、最終的にウイルスは消滅する、と話します。

しかし、現状は複雑で、地域によってはワクチンを受けていない子どもが何千人もいます。「接種を受けていない子どもがいる理由は地域によって異なります。(中略)治安が悪いためにワクチン投与者が行くのを恐れている地域もあります」と話すザフラン氏。治安のほかにも、インフラや安全な水供給の不足、不備のある活動計画、地域社会からの反発といった要因を指摘します。

ザフラン氏はまた、ポリオのさらなる蔓延を防ぐために、保健ワーカーが各地域社会を調べ、子どもが見落とされる原因を突き止め、地域特有の課題を克服するためにカスタマイズされた計画を作成していると話します。

このアプローチは、2014 年にポリオ根絶が宣言されたインドで、保健専門家が最後の障壁を乗り越えるために用いた方法と類似しています。

「この取り組みを信じ、支援を続けるための自信をなくすべきではありません。希望をもって活動を続けることです」と話すザフラン氏。「世界中で資金を集め、この取り組みに対する支援を政府に要請していく必要があります。(中略)ゴール地点は見えています。弱気になっている場合ではありません」

ポリオが根絶された場合、ポリオは天然痘に続いて、人類が根絶する史上 2 番目の疾病となります。

ロータリーは、1985 年に[ポリオプラス・プログラム](#)を開始して以来、ポリオ根絶のために 20 億ドル以上の寄付を行ってきました。また、ポリオ根絶活動のために年間 5000 万ドルの寄付金を集める取り組みも行っており、これにビル&メリンダ・ゲイツ財団から 2 倍額の上乗せが加わります。これにより、毎年 1 億 5000 万ドルを、「ポリオのない世界」という子どもたちへの約束を果たすための活動に充てることができます。